

---

# 2021 年度 事業報告書

---

〒202-0022 東京都西東京市柳沢 4 丁目 1 番 3 号



社会福祉法人 東京老人ホーム



# 目 次

I. 法人の事業経営	1
II. 施設サービス	8
1. 特別養護老人ホーム「めぐみ園」（ショートステイを含む）	10
2. 養護老人ホーム「東京老人ホーム」	12
3. 軽費老人ホーム「東京老人ホーム泉寮」	14
III. 在宅サービス	16
1. 老人居宅介護等事業「めぐみ園ホームヘルプサービス」	18
2. 居宅介護支援事業「めぐみ園指定居宅介護支援事業所」	20
3. 富士町地域包括支援センター（西東京市から受託）	22
IV. 事務・管理	24
1. 事務室（総務）	24
2. 事務室（経理）	25
3. 経営管理室	26
4. 食事室	27
V. 地域貢献	30

# I 法人の事業経営

## 2021 年度を振り返って

東京老人ホームは、昨年 2021 年に創立 98 周年を迎えました。毎年のこととして、12 月 13 日の創立記念日には礼拝をしていましたが、2021 年度も新型コロナウイルス禍にあって感染予防の観点から、一堂に会しての礼拝は見合わせ、館内放送を通して、神様に感謝すると共に、創立者たちの願いや思いを改めて思い起こし、「ミッションステートメント」に表明された東京老人ホームの「創立の理念」を確認しました。

まさに、時が良くても、悪くても、創立の理念に立ち返ることが大切です。そうすることによって、東京老人ホームの存在意義、存在理由が鮮明にされます。長い歴史を歩んできているからこそ、初心を忘れず、原点に常に立ち帰って、自らの立ち位置を確認し、進むべき道を展望していきたいとの願いは変わりません。

東京老人ホームのそもそもの出発点は、未曾有の災害となった 1923 年 9 月の、「関東大震災」でした。あの震災から学んだ教訓は決して忘れてはならないことで、継承されるべきです。震災そのものの被害も甚大でしたが、その際に飛び交った流言飛語による被害も少なからずありました。いずれにしても、「正確な情報」と「的確な広報」が、災害の際には重要になります。出口の見えない新型コロナウイルス禍。それがもたらしている状況は、まさしく災害です。そういう災害状況にあっては、「正確な情報」と「的確な広報」はますます必要不可欠です。「正確な情報」と「的確な広報」のための観察力、洞察力、掌握力、そして、冷静、沈着を身につけていきたいものです。

東京老人ホームの働きは、当然のことながら広がり、多様化してきました。2021 年度は、「ウイズコロナ」を前提に、社会の在り様、態勢そのものが変化してきました。その変化に適応するサービスが求められています。厳しい状況にあって、職員たちはホームの新しい様子を模索しつつ、勇気をもって果敢に取り組んでいます。迅速に、そして的確に対応していくことのできるフットワークの良さと柔らかな心を持ち続けることが重要であることを痛感すると共に、職員の献身的な努力に敬意を表します。

事業経営の課題として最優先すべきは、「利用者の方々が安心して、心豊かに毎日を過ごすことができる環境とサービスの提供」です。これは「ウイズコロナ」にあっては変わりません。この実現、充実を常に心がけてきましたし、今後も努力します。

その努力が、優秀な人材の確保、定着、そして、専門職として、法人職員としての育成にもつながることでしょう。地域の方々のご理解とご支援、ボランティアの方々のお働きに心から感謝いたします。本年度も、誠実な努力を重ねていく決意です。

厳しい状況が依然続いておりますが、時を支配し給う全能の神を信じ、希望と愛と勇気をもって、目の前にある、なすべき務めを、一丸となって果たしていきます。

理事長 徳野 昌博

## (2) 法人の経営報告

2021年度の収支バランスは、感染症発症による収入減や予防対策で見込みを上回る支出もありましたが、各事業所の運営努力や経費の節減、計画の未実施による支出減、また感染症対策補助金などによって概ね目標が達成されました。しかしながら、これは支出減により収入減を補えた結果であり、サービス提供面での影響は大きく、利用者の一部には心身レベルの低下も見られています。評価できる点は、リモートによる活動の工夫で、地域コミュニティとの交流の機会は新しい方法に見直されつつあり、今後も取り組みを行っています。

経営の数値については、およそ 36,000 千円の収支プラスとなりました。

## (3) 法人の経営事業

### ① 第一種社会福祉事業（施設事業）

- ア. 特別養護老人ホーム「めぐみ園」                      (定員 80名)
- イ. 養護老人ホーム「東京老人ホーム」               (定員 50名)
- ウ. 軽費老人ホーム「東京老人ホーム泉寮」          (定員 100名)

### ② 第二種社会福祉事業（在宅事業）

- ア. 老人短期入所事業「めぐみ園」(ショートステイ) (定員 10名)
- イ. 老人居宅介護等事業「めぐみ園ホームヘルプサービス」

### ③ その他事業（在宅事業）

- ア. 居宅介護支援事業「めぐみ園指定居宅介護支援事業所」
- イ. 地域包括支援センター「富士町地域包括支援センター」(西東京市から受託)
- ウ. 高齢者配食サービス事業「西東京市高齢者配食サービス」(西東京市から受託)

## (4) 法人の組織（2022年3月31日現在）

### ① 役員

理事 6名      理事長：徳野昌博      常務理事：高橋睦  
                  高山由美子   宮本新   関根麻美   森下真樹  
監事 2名      水野重信   米田節子

### ② 評議員

評議員 7名   榎純子   宇野正徳   増川明   立石節子  
                  森山亮二   関根裕恵(新任)   古財武久(新任)

(5) 役員会、評議員会の開催報告

① 理事会

番号	開催日時	出席者		議 事
		理事	監事	
1	2021年 5月24日	6名	2名	(1)2020年度事業報告について (2)2020年度収支決算について (3)社会福祉充実計画について (4)経理規程の一部変更について (5)理事及び監事候補者の選任について (6)評議員選任・解任委員の選任について (7)評議員候補者の選任について (8)評議員会の開催とその議題について
2	2021年 6月10日	5名	2名	(1)理事長の選任について (2)常務理事の選任について
3	2021年 11月15日	6名	2名	(1)2021年度一般会計収支予算（補正第1号） について (2)2022年度富士町地域包括支援センター事業 計画について
4	2022年 3月25日	6名	2名	(1)2021年度一般会計収支予算（補正第2号） について (2)2022年度事業計画について (3)2022年度一般会計収支予算について (4)運営規程の一部改正について 特別養護老人ホームめぐみ園 養護老人ホーム東京老人ホーム 軽費老人ホーム東京老人ホーム泉寮 (5)就業規則等の一部改正について (6)役員賠償責任保険の加入更新について

② 監査

番号	開催日時	出席者	事 項
		(監事)	
1	2021年 5月14日	1名	(1)法人の財産の状況 (2)業務執行状況
2	2021年 5月19日	1名	(1)業務執行状況 (2)施設の運営状況 (3)施設のサービス状況

③ 評議員会

番号	開催日時	出席者		議 事
		評議員	その他	
1	2021年 6月10日	7名	理事 1名 監事 2名	(1) 議事録署名人の選任について (2) 2020年度 事業報告について (3) 2020年度 収支決算について (4) 社会福祉充実計画について (5) 理事及び監事の選任について

(6) 資産及び会計

- ① 経営事業の資産総額 [2022年3月31日現在]  
 資産総額 : 1,277,820,689円  
 これを6月の評議員会の決議を経て登記する。
- ② 会計決算収支の総計 [2021年4月1日～2022年3月31日]
- |          |    |              |      |              |
|----------|----|--------------|------|--------------|
| 事業活動 :   | 収入 | 949,312,262円 |      |              |
|          | 支出 | 904,450,301円 | 収支差額 | 44,861,961円  |
| 施設整備等 :  | 収入 | 1,640,000円   |      |              |
|          | 支出 | 10,932,357円  | 収支差額 | △9,292,357円  |
| その他の活動 : | 収入 | 4,237,130円   |      |              |
|          | 支出 | 33,589,873円  | 収支差額 | △29,352,743円 |
| 総 計 :    | 収入 | 955,189,392円 |      |              |
|          | 支出 | 948,972,531円 | 収支差額 | 6,216,861円   |
- ③ 法人監事による監査の実施 : 2022年5月13日(金)



## (7) 会議・委員会の開催

### ① 会議

経営会議	毎月 第 1.3 月曜日
統括長会議	毎月 最終月曜日
管理者会議	毎月 最終月曜日
施設部門会議	毎月 第 1 月曜日
在宅部門会議	奇数月 第 2 月曜日

### ② 委員会

安全衛生委員会	毎月 第 4 火曜日
防災委員会	毎月 最終木曜日
広報委員会	毎月 第 2 火曜日
ボランティア委員会	4. 6. 7. 9. 11. 1. 3 月 第 4 月曜日
感染症対策委員会	5. 8. 10. 12. 2 月 第 3 金曜日
第三者委員会（苦情・事故）	6. 12 月

### ③ 建替検討プロジェクト

5. 7. 9. 11. 1. 3 月 第 3 月曜日

※上記、定例の会議および委員会についてはオンライン等を活用し適宜行いました。



## Ⅱ 施設サービス

### (1) 共通事項

#### ① 情報開示

法人発行の季刊誌「いきいきまち」やホームページ、介護サービスの公表制度（インターネット）、東京都が推進する「働きやすい福祉の職場宣言」、第三者評価機関による評価結果報告などにより関係する情報を公開しました。また、利用者やご家族に対しては、各施設からの広報誌を通じて様々な法人や施設の情報をお伝えしました。

#### ② 苦情解決

苦情・事故に関する報告を、年2回第三者委員へ行い、対策や対応に関する助言をいただき、再発の防止に役立てました。

日常における生活の様子やケアに関する情報を、ご家族等と共有するとともに、利用者懇談会や、意見箱などで意見をお聞きし、把握した課題を共有し、これらの情報を踏まえたより良いサービスの提供を行いました。

#### ③ 職員研修

感染防止対策を念頭に、ウェブによる法人外主催の研修へ参加や、内部研修の実施により職員個々の資質向上と組織力の向上に取り組みました。

#### ④ 身体拘束等の適正化

各施設の身体拘束に関する指針に基づき、身体拘束適正化委員会を中心に、職員研修等を実施し、身体拘束等の適正化に取り組みました。

#### ⑤ 施設の共通課題への取り組み

制度改正の対応や感染症対策など施設間で共通する課題に対し、部門で協議し対応しました。



## 1. 特別養護老人ホーム「めぐみ園」(ショートステイを含む)

### (1) 運営報告

利用者お一人おひとりが、その方らしい生活を送る事を大切に支援しました。

とりわけ、めぐみ園が利用者にとっての終の棲家であるという視点に重点を置き、日常のケアの質の向上に取り組みました。

### (2) 課題と対応

#### ① 終の棲家としてのケアの実施

最期までその方らしい生活を送れるよう利用者及びご家族の思いを尊重した支援をしました。

#### ② 日常的な支援の在り方の見直し

フルリクライニング車椅子やスライディングシートを活用し、持ち上げないケアを実践して、利用者、職員にとってより安全な介護になるよう取り組みました。

#### ③ 医療をはじめとする他職種との連携の強化

各専門職が連携して日常の生活や健康への支援を実施しました。とりわけ、リハビリや栄養において、介護、医療、栄養が共有する計画を基に支援にあたりました。

#### ④ 尊厳・権利擁護の視点に立ったケアの実施

苦情や要望については、その都度速やかに対応しました。また尊厳や権利擁護について、部署内研修等で学び、利用者の立場に立ったケアを実践しました。

#### ⑤ 地域とのつながり・地域貢献

新型コロナウイルス感染予防を踏まえ、近隣高校のクリスマスコンサートをビデオ通話で上映しました。その他、小学校において高齢者について学ぶ授業の講師や高齢者疑似体験の授業を行う等、地域の方々へ福祉・介護の啓発に取り組みました。

#### ⑥ リスクマネジメントの取り組み

利用者の安全な生活を支えるため、感染症予防研修や事故防止研修等を行ない、対応方法の標準化を図りました。

#### ⑦ 職員の能力の向上

個々の職員に合ったOJTの実施のための部署内研修を行い職員の能力向上に取り組みました。その他、課題に応じた外部研修に参加しました。

### (3) 苦情・事故報告

#### ① 苦情の再発防止に対する取り組み

利用者やご家族からの苦情等について都度対応し、再発防止に取り組みました。

区分 件数	利用者間	サービス提供	設備	その他	合計
苦情件数	0件	11件	0件	3件	14件

#### ② 事故の再発防止に対する取り組み

軽微な事故についても報告し、居室担当を中心に事故対策の振り返りを行い、再発防止に努めました。また、年2回介護時に関する研修を実施し、事故に対する意識、知識の向上を図りました。

区分 件数	転倒・転落	服薬等	その他身体に 係る事故	その他	合計
事故件数	166件	52件	321件	56件	595件

### (4) 年間行事報告

年	月	内容
2021	5月他	変わり湯（ラベンダー菖蒲、森の香り、柚子、檜、レモングラス、マスカット）
	毎月	お誕生日会
	7	七夕飾りつけ
	6～11	園芸
	12	クリスマスランチ

### (5) ショートステイサービス

高齢者が住み慣れた地域で生活が継続できるようにサービス提供し2020年度に比べ利用人数は増加しました。緊急ショートステイ事業においては利用者やその家族関係者の状況を把握し行政等と連携を取りながら利用者の生活再建の一助となるよう努めました。新型コロナウイルス感染予防のためにも、入所時の体調確認を徹底して行いました。

### (6) 実習生

新型コロナウイルス感染予防のため、社会福祉士、栄養士の実習の受け入れは行いませんでしたが、生活相談員が大学の実習の授業において講師を務めました。

## 2. 養護老人ホーム「東京老人ホーム」

### (1) 運営報告

新型コロナウイルス感染症の長期化によりストレスや不安を抱える利用者のケアに努めました。施設内行事については感染に留意しながら可能な範囲で実施し生活の質を保てるよう努めました。

### (2) 課題と対応

#### ① 個別サービス計画の作成と個々の生活課題に即した支援

個別サービス計画の作成・見直しについては生活相談員、各居室担当を中心に行いました。利用者の心身の変化については日々のミーティングで共有および支援検討を行い、計画にも反映しました。

#### ② セーフティネットとしての役割の遂行

ソーシャルワーク能力の向上を目的としてオンラインにてソーシャルワーク研修を3回実施しました。内部研修として脳血管障害、高次脳機能障害を有する利用者の理解とケアの向上を目的に事例検討を実施しました。

#### ③ リスクマネジメントへの対応

今年度は感染症対策に重きを置いて実施しました。新型コロナウイルス感染症においては実際に発生したことを想定し初動訓練を実施しました。訓練より課題として挙げられた事項については内部で検討し対応を行いました。

#### ④ 終末期の支援の充実

ホーム内で看取りを実施するに於ける条件や利用者の意向を綴ったマイノートの評価、お別れ会のあり方等について内部で検討を実施致しました。

### (3) 苦情・事故報告

#### ① 苦情の再発防止に対する取り組み

苦情件数と第三者評価機関による利用者アンケートにおける利用者の満足度の乖離が見られました。感染症対応下で生活に対する不満を持ちつつも遠慮をされている方がいる状況を踏まえ利用者懇談会については話をしやすいように小グループに分けて実施しました。生活の豊かさに関する要望が多く聞かれ、順次対応を行いました。

区分 件数	利用者間	サービス提供	設備	その他	合計
苦情件数	0件	4件	0件	0件	4件

② 事故の再発防止に対する取り組み

介護認定を受けていない方の転倒が多く見られました。新型コロナウイルス感染症の長期化による生活の不活発が要因の一つとして挙げられます。服薬事故については服薬忘れや服薬見守りの不徹底による未投薬が多く、ヒューマンエラーに由来する事故が大半を占めていました。指導の徹底、方法の見直しを図り防止に努めていきます。

区分 件数	転倒・転落	服薬等	その他身体 に係る事故	その他	合計
事故件数	61件	17件	1件	7件	86件

(4) 年間行事報告

年	月	内容
2021	4	利用者懇談会
	5	しょうぶ湯・春のお食事会・ティールーム
	6	大掃除
	7	七夕飾り・衣類販売会・ひがしふしみ保育園交流会（ビデオレター）
	8	ティールーム
	11	ひがしふしみ保育園交流会（オンライン）・実りの秋の食事会・利用者懇談会
	12	ゆず湯・クリスマスランチ・大掃除
2022	1	新年会（縮小して実施）
	2～3	新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため中止

(5) 地域交流

昨年度は保育園や近隣の教育機関との交流につきましては中止を余儀なくされました。今年度は双方で準備を行いながらオンラインを活用して世代間交流を図ることが出来ました。

(6) 医務関係

利用者の新型コロナウイルスワクチン接種1回目、2回目につきましては集団接種会場まで職員が同行し計39名が接種しました。3回目接種は嘱託医のクリニックにて実施しました。インフルエンザ予防接種は35名実施しました。

(7) 法人内施設軽費老人ホームとの連携

保育園や教育機関との交流行事において軽費老人ホーム泉寮と連携し、オンラインを活用して相互の利用者の交流を図ることが出来ました。



### 3. 軽費老人ホーム「東京老人ホーム泉寮」

#### (1) 運営報告

法人の理念に基づき、お一人おひとりが地域の一員としてその方らしく暮らせるようにという願いは、コロナ禍にあって、2021年度も困難な一年となりました。利用者それぞれの生きがいや楽しみの活動、フレイル予防の取り組みも同様でしたが、そのような感染予防対策をしつつもWEBの活用やリモートによる交流で、新しい楽しみ方を経験することも出来ました。それでも自粛の生活は、心身共に低下をもたらし、転倒などの要因の1つとなっています。

新規入居者についてもコロナ禍のため、施設見学や入居相談、また引っ越しについて二の足を踏む例も散見されています。

#### (2) 課題と対応

##### ① 感染予防に向けた取り組み

感染症流行の動向を鑑み、感染症対策委員会を中心に方針を決定し、濃厚接触者疑いなどが生じた場合は、マニュアルや国が定める基準に従い、ご家族や外部サービスなどと連携を図りました。施設内のクラスター発生はなく経過しています。

##### ② 医療・介護サービスとの連携

居室担当が担う役割を拡充し、個別ニーズや希望を確認しながら、速やかに対応できるよう努めました。介護サービスとの協力、連携を図りながら、泉寮で安心して暮らせるよう支援しました。

##### ③ 新しい生活様式の構築

中断していたクラブや行事について、食堂やモバイル等の通信環境を改善しました。講師など関係者と打ち合わせ、感染予防をしながら、段階的にWEBを利用し再開しています。

##### ④ 利用者と職員の安全への取り組み

事故については原因をミーティングで話し合い、対策から事後評価まで居室担当を中心に実践しました。労働災害防止については、ミーティングで随時対策しましたが、ヒヤリハットなど活用に改善の余地を残しました。

##### ⑤ 新たな記録システムの活用

法人のネットワークを用いたシステム上のアプリを活用し、アセスメント、プランの作成を行うなど、段階的に各種帳票も切り替えを進めました。

### (3) 苦情・事故報告

#### ① 苦情の再発防止に対する取り組み

コロナ禍、お弁当を提供する中、食事についての要望等があり、電子レンジ増設、選択食を再開するなど対策に取り組みました。

区分 件数	利用者間	サービス提供	設備	その他	合計
苦情件数	4件	4件	0件	4件	12件

#### ② 事故の再発防止に対する取り組み

転倒事故が昨年比で約2倍となり、フレイル予防が課題となっています。居室担当を中心に原因追及、対策、対策後の評価の上、外部サービス活用などに努めました。

区分 件数	転倒・転落	服薬等	その他身体に 係る事故	その他	合計
事故件数	53件	15件	0件	3件	71件

### (4) 年間行事報告

年	月	内容
2021	4	お花見の会（桜の名所 DVD）
	5	ステイホーム世界旅行（フランス、ベルギー旅行 YouTube 使用）
	6	ひがしふしみ保育園交流事業（ビデオレター）、映画観賞会、七夕飾り
	7	ひがしふしみ保育園ビデオレター鑑賞会、利用者健康診断（市健診）
	8	納涼会（花火映像と軽食）、作品展準備（合同作品）
	9	作品展出展、敬老祝賀メッセージ
	11	介護予防講演会（ZOOM 出前講座）、健康勉強会（感染対策と黙食） ひがしふしみ保育園交流会（和太鼓披露）
	12	クリスマスメッセージ、クリスマスランチ、利用者健康診断、創立記念礼拝
2022	1	ぜんざいを楽しむ会
	2	ひがしふしみ保育園卒園プレゼント、歴史勉強会は感染症蔓延防止のため中止

### (5) 法人内養護老人ホームとの連携

養護・軽費で協力し、保育園交流事業でプレゼントやメッセージカードの交換を行いました。

### (6) 介護予防への取り組み

身体機能が低下しない様にソーシャルディスタンスや換気、パーテーションを設置した形でできる行事や健康勉強会、映画観賞会などを実施しました。

## Ⅲ 在宅サービス

### (1) 共通事項

#### ① 職員の資質向上

各部署ごとに計画的かつ、職員個々の能力に合わせた研修を実施し資質の向上に取り組みました。また、在宅部門共通の研修テーマについては新型コロナウイルス感染防止対策として各部署にて実施しました。

#### ② ケアチームの連携強化

利用者の望む生活に向け、医療・介護の細やかな連携を図り支援を行いました。また、新型コロナウイルス感染症などの情報についても関係機関と連携を図り、迅速な対応に繋げることができました。

#### ③ 苦情解決

苦情や日々のサービスに関する要望などに対して、人権擁護と利用者本位のサービス提供を鑑み、迅速かつ早期解決に努めました。サービスの質の向上に向け、第三者委員会での助言を部門内で共有を図りました。



## 1. 老人居宅介護等事業「めぐみ園ホームヘルプサービス」

### (1) 運営報告

利用者・ご家族の心身の状況を踏まえ、その方らしい生活が実現できるよう可能な限り利用者本人の自立と生活機能の維持の視点でサービス提供を行うとともに、介護支援専門員やその他の関係機関との連携を図り、住み慣れた在宅の生活維持に向けて支援を行ってまいりました。

### (2) 課題と対応

#### ① 職員の資質向上

各ヘルパーの介護技術能力を勘案し、個別研修及び利用者宅での実践指導を積み重ね、技術の向上を図りました。次年度も継続して個別研修を実施し、介護技術の向上に努めていきます。

#### ② 自立支援をふまえたサービスの提供

利用者の心身能力に合わせた、自立支援（見守り支援）に重点をおいたことにより、心身機能の維持・向上に繋げることができました。次年度も取り組みを継続していきます。

#### ③ 看取り支援の充実

看取り支援に必要な医療知識や介護技術指導を行うとともに、医療職との連携を図り、看取り支援の充実に取り組んできました。今後も様々な看取りの支援に対応できるようスキルアップを図っていきます。

#### ④ 法人内各部署との連携強化

法人内施設利用者に対し、関係部署間で情報共有を密にし、必要なサービスを提供することで、生活の質を高めることができました。新型コロナウイルスに関する情報共有及び対応についても迅速な対応を図ることができました。

#### ⑤ リスクマネジメントの徹底

本年度は、利用者宅へ移動中の自転車転倒事故が複数回発生しました。幸い大きなケガには至りませんでしたが、訪問介護事業としては労働災害に繋がる大きなリスクとなっています。次年度は、そのリスクに対し軽減対策を検討、実施していきます。

### (3) 苦情・事故報告

区分 件数	利用者間	サービス提供	設備	その他	合計
苦情件数	0	0	0	0	0

#### ① 事故の再発防止に対する取り組み

新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、全職員が参加するミーティングを書面伝達形式に切り替え、事故防止研修を実施しました。

区分 件数	転倒・転落	服薬等	その他身体に係る事故	その他	合計
事故件数	0	0	0	4	4

### (4) 年間報告

年	月	内容
2021	8	『高齢者虐待防止』
2021	11	武蔵野市福祉公社主催『移乗・移動支援研修』（オンライン形式）
2021	12	東京都国保連主催介護サービス事業者支援研修会（オンライン形式）
2022	2	東京都集団指導（オンライン形式） 東京都介護現場におけるハラスメント対策説明会（オンライン形式）
2022	3	西東京市多職種研修（オンライン形式）

※ヘルパーミーティングは、年間通して書面開催

※サービス提供責任者会議については毎月実施

※個別研修については、年間計画に則り実施

※西東京市及び武蔵野市主催の訪問介護分科会は年間通して中止

## 2. 居宅介護支援事業「めぐみ園指定居宅介護支援事業所」

### (1) 運営報告

利用者の意志及び生き方を尊重し、常に利用者の立場に立って可能な限り自立した生活と残存能力（介護予防）をいかせることを念頭に支援いたしました。利用者の心身の状況、その置かれている環境などに応じて、利用者の選択に基づき、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業所から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮し又、利用者に提供される指定居宅サービス等が特定の居宅サービス事業所に偏することのないよう公正中立に行いました。

### (2) 課題と対応

#### ① 利用者の自立支援、自己実現

利用者、ご家族の望む生活と生活課題を一緒に考え、残された能力（強み）をいかしていく視点で課題分析を行い生活の質の向上に向け支援を行いました。それまでの歴史や背景の理解に努め、『その人らしい』ケアプランになるよう目標を一緒に考え自立支援を行いました。

#### ② 介護支援専門員の資質・専門性の向上（ケアマネジメントの充実）

自立支援の観点から幅の広いニーズを導き、その人らしい『真のニーズ』をケアプランに反映できるよう、リ・アセスメントシート手法を通しての事例検討、又コミュニケーション能力の向上に向けた様々な研修を行い学びを深めました。コロナ禍でのリモート勤務におけるケアマネジメント業務も安定し、今後も継続致します。又ミーティングをこまめに行い情報共有の強化、事業所全体で利用者を支援する観点で検討、評価を行いチーム力高めました。さらに、介護保険制度に留まることなくインフォーマル（地域の力）を積極的に活用し、ケアプランに反映することを行いました。

#### ③ 地域の行政・医療・介護・社会福祉関係機関との連携強化

在宅の看取り、医療依存度が高い利用者に適宜対応できるよう、医療連携シート活用に加え、連絡を密に行い入退院時に備えました。又、虐待ケースが増加している為、包括支援センター、市役所、並びに関係機関との連絡の強化に努めました。

#### ④ 法人内施設との連携強化

法人内の各施設サービス窓口を通じ、情報の共有と連絡調整を行い重度化に即した支援を行いました。新型コロナウイルス等感染症に対する情報共有を迅速に行いました。

#### ⑤ リスクマネジメントの徹底

利用者が安心して在宅での生活を送れるよう、感染症予防や、職員の安全衛生のリスクマネジメントを行ってきました。業務においては、在宅サービスにおける関係法令の周知徹底を図りました。

### (3) 苦情・事故報告

#### ① 苦情の再発防止に対する取り組み

速やかに情報を収集したうえで対応し、調査、検討、共有し再発防止に努めている。利用者・ご家族の言葉や表情を読み取り丁寧な対応につながるよう今後も努めます。

区分 件数	利用者間	サービス提供	設備	その他	合計
苦情件数	1	0	0	0	1

#### ② 事故の再発防止に対する取り組み

スケジュール確認不足からサービス調整が失念したケースが3件あった。自身だけでなく職員全体のスケジュールへの記入も徹底していくことを引き続き行います。

区分 件数	転倒・転落	服薬等	その他身体に係る事故	その他	合計
事故件数	0	0	0	3	3

### (4) 年間報告（年間回数）

- \* 西東京市主任ケアマネ質の向上部会 zoom（11回）
- \* 西東京市質の向上コア会議（1回）
- \* 西東京市南部圏域事例検討会 zoom（2回）
- \* 西東京市中部圏域事例検討会 zoom（3回）
- \* 西東京市北東部圏域事例検討会（質の向上部会からの参加） zoom（1回）
- \* 武蔵野市地区別ケース検討会 zoom（5回）
- \* 特定加算要件・事例検討会 zoom（1回）
- \* 西東京市多職種研修 zoom 研修（1回）
- \* 西東京市エイドプロジェクト研修 zoom（1回）
- \* 西東京市管理者研修（1回）

### (5) 特定事業所加算

加算事業継続の要件である介護支援専門員実務研修の実習生の受け入れは、感染症予防の為中止となった。他法人との事例を通じての研修においては zoom にて開催しました。



### 3. 富士町地域包括支援センター（西東京市から受託）

#### (1) 運営報告

富士町地域包括支援センターは高齢者が住み慣れた地域で安心して尊厳あるその人らしい生活を継続できるよう、心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援致します。2021 年度においても、西東京市との委託契約に基づき、事業及び業務を実施しました。

#### (2) 事業内容

##### ① 総合相談支援業務

地域の高齢者に関するさまざまな相談を受け、実態把握の上、適切な制度・サービスにつなぎ、継続支援を行いました。年間の相談件数は 4787 件となっています。相談内容は介護保険サービス、医療、状況確認、高齢者虐待、認知症、ケアマネジャー支援、介護者支援の順に多くなっています。感染症拡大による自粛から相談件数が減少しており、閉じこもり傾向のある高齢者や独居高齢者へのアウトリーチに力を入れ、支援につなげています。

##### ② 権利擁護業務

支援者や民生委員等から多数の相談がありました。年間 12 件の虐待ケースに対応しています。その他、権利擁護や消費者被害に関する支援を行いました。

##### ③ 包括的継続的ケアマネジメント業務

ケアマネジャーの実践力向上に向け、後方支援を実施しました。また、関係機関との連携体制の構築に向け積極的に情報共有を行いました。

##### ④ 介護予防・日常生活支援総合事業

要支援 1・2、事業対象者の認定を受けた利用者を対象とするケアプラン作成・給付管理を行いました。2021 年度のケアプラン数は 1835 件となっています。

地域のサロンの継続支援、いきいき百歳体操の普及啓発を行いました。

##### ⑤ 地域ケア会議

地域ケア会議Ⅰを 3 回（課題解決型 2 回、自立支援・介護予防型 1 回）、専門職等による地域ケア会議Ⅱを 1 回開催しています。

##### ⑥ 認知症総合支援事業

認知症サポーター養成講座を 2 回、若年性認知症のご家族を対象とした「かえるの会」を 1 回実施しております。感染予防対策から認知症を知る 1 か月キャンペーンは

縮小し実施しました。認知症カフェは感染状況を見ながら3団体の運営に関わりました。包括主催は予約制で実施、2団体の運営支援を行いました。

⑦ 生活体制整備事業

ささえあい事業と連携、高齢者の安否確認時に協力しています。生活支援コーディネーターや、ささえあい訪問協力員から相談のあった高齢者の支援を行いました。

⑧ フレイル予防事業

地域の高齢者にフレイル予防の普及啓発を行いました。把握したフレイル状態の高齢者を訪問しモニタリングしました。

**(3) 苦情・事故報告**

① 苦情の再発防止に対する取り組み

高齢者への介入不足や、ご家族への説明不足のないよう、所内で共有しました。意見交換や進捗確認を随時実施しました。

区分 件数	利用者間	サービス提供	設備	その他	合計
苦情件数	0	1	0	0	1

② 事故の再発防止に対する取り組み

スケジュール管理ミスのないよう、所内全体で共有しました。

区分 件数	転倒・転落	服薬等	その他身体に係る事故	その他	合計
事故件数	0	0	0	0	0

**(4) 年間報告**

全214件。うち、会議136件、運営・講師等34件、研修受講24件、その他の普及啓発活動12件となっています。高齢者福祉サービス調査表作成は25件でした。

**(5) その他**

国立看護大学校の実習生を5名受け入れました。

## IV 事務・管理

### 1. 事務室（総務）

#### (1) 運営報告

事務室（総務）は、運営とサービス提供の担い手である職員の職場環境（ハードとソフト）の整備及び帰属意識の浸透と定着を中心に下記の通り計画を実施しました。

#### (2) 課題と対応

##### ① 次世代法の状況確認と報告

女性の職業生活における活躍の状況に関する内容を中心に雇用環境に関するデータ分析を行い、今後の課題について検討を重ねるとともに厚生労働省「女性の活躍推進企業データベース」に外部公表を行いました。

##### ② 職場のコミュニケーションを活性化する取り組み

管理者に対し「ラインケア」及び「セルフケア」に関する研修会を開催し、管理者が職員とどのようなコミュニケーションを行うべきか考え、情報を共有することで、職場のコミュニケーションのあり方を見直す機会としました。

また、昨年度は対面による実施が見送られた「シスター&ブラザー会」ですが、今年度は同期や若手先輩職員との接点を設け、今後の交流に寄与することを目的に、オンラインにより実施しました。

##### ③ オンライン手続きへの切り替え促進

外部機関への手続きに電子申請を導入し運用を開始するとともに、内部の手続き申請においても一部オンライン申請による項目を増やすことで、業務の効率化と、人の往来を減らすことによる感染リスクの低減を図りました。

## 2. 事務室（経理）

### (1) 運営報告

事務室（経理）として、法人全体の収支状況を管理し、予算執行が適切に行われるよう取り組みました。

### (2) 課題と対応

#### ① コロナ禍における業務改善への取り組み

緊急小口現金の導入により、各部署にて支出管理ができるようになり、業務に支障なく対応できるように取り組みました。

#### ② 予算管理

予算作成時には、各事業所へのヒヤリングを行い、計画に沿った予算執行及び収支状況を管理しました。

#### ③ 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業に係る交付金等処理

2020年度同様、東京都及び西東京市より上記交付金を受けるにあたり、申請及び実績を報告致しました。

### 3. 経営管理室

#### (1) 運営報告

収入と支出のバランスを注視しながら、施設運営に必要な設備機器の更新を、優先順位を踏まえ実施しました。複数業者による見積比較、自主修繕の取り組み、割賦やリース契約による資金調達等により、効率的な資金活用に努めました。

#### (2) 課題と対応

##### ① ナースコール及び電話交換機の更新

電話交換機が故障・修理不能となり、電話設備のみ先行して更新するプランに変更しました。年度内の工事予定でしたが、オミクロン株の感染拡大や、施設内での新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を踏まえ、年度内の実施は見合わせました（2022年4月工事完了済）。尚、ナースコールは、居室内の工事も必要で、感染リスクが高いため、次年度以降に更新を計画することとしました。

##### ② 厨房等LED照明の更新

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、厨房や配膳室、浴室等の改修は見合わせ、感染リスクの低い『屋外階段・屋内階段の非常照明』をLED照明に更新するプランに変更しました。12月に発注しましたが、世界的な半導体不足により、納期が発注後4か月以上かかる状況となり、年度内の工事は断念しました（2022年4月工事完了済）。

##### ③ 共用部の感染症対策

新型コロナウイルス感染症の対策の一環として、『ロビーの共用トイレ』について感染対策工事を実施しました。水栓を自動水栓に、照明及び換気扇のスイッチをセンサー式に改修し、不特定多数の方が触れることによる感染リスクを低減しました。

## 4. 食事室

### (1) 運営報告

栄養バランスのとれた食事作りを心掛けるとともに、お食事から季節を感じていただけるよう、旬の食材を取り入れた献立作りに取り組みました。また、利用者お一人おひとりの状態に合わせた食事を提供することで、健康の保持増進に努めました。

配食サービスにおいては、おいしく安全な昼食を定期的にお届けし、当該高齢者の健康状態の把握及び安否確認を行うと共に、孤独感を緩和することで、住み慣れた場所で安心して暮らす事の出来る環境作りを支援しました。

### (2) 課題と対応

#### 【施設】

#### ① 新しい生活様式に合わせた食事提供

各施設の状況に合わせた食事の提供（パーティション・時間差・弁当箱等）を行いました。感染症発症時には、迅速に居室配膳に切りかえ、蔓延防止に努めました。

#### ② 栄養状態の保持・増進

栄養バランスのとれた食事を提供し、栄養状態・抵抗力・筋力の保持増進を図りました。デザートに栄養価の高い補助食品を使用し、たんぱく質の強化に努めました。

#### ③ リスクマネジメントの取り組み

利用者の安全な食生活を支え、職員が安心して働けるように、研修等による新型コロナ対策、厨房内の機器点検や修繕、更新等の環境面の整備を行いました。

#### 【配食サービス】

#### ① 新しく担当する地域の利用者への取り組み

今年度より『保谷町』を追加受託し、配達体制を2チームから3チーム制に再編成しました。日々のお弁当、誕生日の取組み（メッセージとお菓子）共に大変好評です。

#### ② 安否確認

「お弁当」を継続して配達することで、利用者の変化に気づき、体調不良の早期発見につなげました。必要に応じ関係各所へ連絡をとり、安心して過ごして頂けるよう努めました。

#### ③ 事故の未然防止に向けての取り組み

ヒヤリマップの更新を行い、危険個所を共有し対策をたてることで、事故を未然に防ぎました。配達員の事故に対する意識向上に努め、2021年度も事故をゼロにする

ことができました。

### (3) 苦情・事故報告

#### ① 苦情の再発防止に対する取り組み

各施設職員と連携をとり、利用者の状況・ニーズの把握に努め、苦情の発生防止に取り組みました。

区分 件数	利用者間	サービス提供	設備	その他	合計
苦情件数	0件	1件	0件	0件	1件

#### ② 事故の再発防止に対する取り組み

過去に発生件数が多かった異物混入事故の対策を日々実施し、再発防止に取り組みました。定期的に調理員へ対策を指導することで、事故防止への意識を高めました。

区分 件数	転倒・転落	服薬等	その他身体に 係る事故	その他	合計
事故件数	0件	0件	0件	5件	5件

### (4) 年間報告

年	月	内容
2021	4	配達員研修（自転車安全講習・マナー・モラル・コンプライアンス）
	6	感染症研修
	11	感染症研修

### (5) 会食の実施

例年、閉じこもり防止や孤独感を緩和する目的で、配食サービスを利用されている方を東京老人ホームの別館にお迎えし、会食を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大を受け、今年度は実施を見送りました。





## V 地域貢献

### (1) 活動内容

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、外部と直接的な交流を伴うイベントは中止しております。その中で、法人独自の取り組みを検討し、出来る範囲で地域との連携を図りました。

#### ① 片付け支援事業

溜め込みの問題のある高齢者に対し、片付け支援を通し、サービスにつながる事で安全な生活環境を維持し、専門職や地域住民とのネットワークの再構築を図る事を目的としています。2022年度内の開始を目指し、実行委員会を立ち上げました。委員会の中で事業の目的や意義を確認の上、役割分担し準備を進めました。

#### ② いきいきさんデー（毎年10月、日曜日）

高齢者福祉の情報発信を軸に、地域との交流を図るお祭りイベントです。地域の学生による演奏や、団体による出店等、地域とのつながりを大切にしています。2021年度は「地域交流、今出来ること～オンラインでつながろう～」をテーマに、近隣の小中学校と国際理美容専門学校の先生方とオンラインで交流を図りました。生徒の発表動画や講座の動画を視聴、意見交換をしました。利用者74名、職員29名が参加しており、非常に好評でつながりを実感出来るイベントとなりました。

#### ③ ぽぽたんカフェ（毎年5月、土曜日）

職員がカフェスタッフとなり、カフェを通じて利用者と家族、地域の方へのおもてなしをします。地域の学生団体による生演奏も行っております。2021年度も中止しております。

#### ④ その他、地域との連携

近隣の小中学校との交流では、保谷第二小学校、けやき小学校、柳沢中学校よりメッセージやプレゼントを頂きました。

また、保谷第二小学校へ的高齢者体験の授業や、柳沢小学校への課外授業の一環として施設紹介を行い、高齢者福祉について知って頂く機会となりました。

西東京市社会福祉法人連絡会のフードドライブ活動への協力、西東京市消防署より当法人の自衛消防隊が表彰を受ける等、地域との連携も図りました。